

NPO たけの子が特別賞

震災から6年、サテライト保育の継続評価



東日本大震災に伴う原発事故の影響により、米沢市上新田でサテラ

イト保育を行っている、福島市のNPO法人青空保育たけの

子(辺見妙子代表)は、子育て支援活動が評価され、民間企業が実施している「未来を強くする子育てプロジェクト」のスマセイ震災復興応援特別賞に輝いた。辺見代表は受賞を受け「復興道半ば。これからも継続したい」と話している。

写真)

昨年11月に米沢市内で行われ青空保育たけの子の感謝際(資料

同プロジェクトは、子育て支援の一環として住友生命保険相互会社が毎年実施している。「子育て支援活動の表彰」と「女性研究

者支援」の2部門で表彰しており、青空保育たけの子は子育て支援の部に寄せられた190個人団体の中から選ばれた。

青空保育たけの子は、野外保育を中心に取り組んでいるNPO法人で、平成21年4月に福島市で発足した。当初は福島市内で活動していたが、原発事故を受けて平成23年から米沢市内でサテライト保育を始めた。マイクロボスを運行させ、福島―米沢間を往復している。現在米沢に通っている子どもたちは10人。

雪遊びをしたり、田んぼで米づくりを体験したりして、米沢の豊かな自然の中で元気いっぱいに過ごしている。

辺見代表は、米沢に身を寄せる避難者の相談にも応じてきたとい「心に不安を抱えたままでは本当の復興は

かなわない。子どもだけでなく保護者も安心できるような場を作りたい」と語っていた。

米 沢 新 聞